

【第105回】防災カフェ



ビフエン君

歩いて考えよう減災への道

～昔の道と今の道・・・違いでわかる自然との向きあい方～

近年あちこちで発生する自然災害、なんとかならないものでしょうか？

実はなんともなりません。地球が生きていて、その中に人間社会がある限り、それは止めようがないのです。でも普段の生活で少しずつ工夫を積み上げていくことで、災害を軽減することは可能です。そのヒントを紹介しましょう。

なかしま たけし
ゲスト ジオサイエンスライター 中島 健 さん

※ 1955年大津市生まれ。2022年まで県内の高校・中学校・大学などで地学教員。地学をほとんど学ばずに社会に出て暮らしている一般市民や学生・教員、また自然大好きな子ども達に対して、講義や実験・観察を通し『地球と人間生活の関係』を、自然災害と恵みという視点から考えていこう！と働きかける活動を教員時代から続けています。



ファシリテーター 滋賀県立琵琶湖博物館 学芸員

しまもと かずゆき
島本 多敬 さん

※ 琵琶湖博物館の歴史分野担当の学芸員。江戸時代を中心とした地図の歴史、フィールドワークと史資料の分析を交えた治山治水の歴史地理について調査をしています。



日時 令和7年11月14日(金) 18:30～20:00

参加方法 会場(滋賀県危機管理センター 1階エントランスホール)または
Web会議用 Zoom でご参加ください。

参加希望者は、下記アドレスまでメールをお送りください。

E-mail: bousai-cafe@pref.shiga.lg.jp

中止する場合は当日 14 時までにHP([滋賀県防災カフェ](#)で検索)でお知らせします。

(問合先) 滋賀県知事公室 防災危機管理局

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1 電話 077-528-3438